

社協だより

第 号
平成 年
月発行

えがおで介護
こころのネットワーク
あんしんサポート



町内で唯一の
国指定の史跡

世尊寺
(比叡寺跡)

～国指定の史跡とは～

文化財の種類の一つである記念物のなかで、貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡に該当するものの中から、歴史上または学術上価値が高いと認められ保護が必要なものについて、国が指定を行ったもの。



- ◆内容◆
- ・新年のご挨拶
- ・生活支援体制整備事業(広げようお互いさまを)
- ・集いの広場紹介(ほっこりカフェ、げんきかふえ)
- ・災害時対応訓練(吉野郡内での合同訓練)
- ・ほうかつ通信(肺炎予防編)
- ・あとがき



発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会
〒638-0821 大淀町下淵 1223 番地 TEL0747 - 52 - 1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

新年のご挨拶を 申し上げます

大淀町社会福祉協議会

会長 岡下 守正



新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、令和2年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素から当協議会の育成・指導におきましてご支援、ご協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

近年、少子高齢化や暮らしの多様化により家庭内や地域社会のつながりが希薄化するなど、地域福祉を取り巻く状況の変化はさらに進んでいます。今後の地域福祉におきましては、「自助・互助・共助・公助」の連携がより一層重要となつてまいります。

こうした中、大淀町社会福祉協議会におきましては、「おおよどアクションプラン」（第2次大淀町地域福祉計画・地域福祉活動計画）を基本に、町民各位並びに関係団体のご協力のもと、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現に取り組んでいくところであります。

本年は「おおよどアクションプラン」が最終年度を迎え、新たな計画を策定する年でもあり、更なる地域福祉の推進に向け邁進致す所存でございますので、今後とも皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年一月

～生活支援体制整備事業を進めています～

広げようお互いさまを 支えてみよう近所の人を！

高齢になっても暮らしやすい地域を目指して、全国的に支え合い・助け合いの体制づくりが進められています。

大淀町においても、大淀町思いやりネットワーク協議体を立ち上げ、暮らしの困りごとを解決・サポートできる体制づくりを進めています。

誰もがいつかは高齢になります。病気やけがをすることもあるかもしれません。

そんな時、近所の人に「ちょっとお願い」「手伝って」「お互いさまだからいいよ」と言える地域になるように、子どもから高齢者まで一緒に考え取り組んでいくことが大切です。地域をつくるのは一人ひとりの思いです。

今後、協議体では皆様の地域へ伺い一人ひとりの思いを大切に、その地域に合った支え合い・助け合いづくりを行っていきます。皆様の地域へお伺いした際にはご協力よろしくお願いいたします。

大淀町思いやりネットワーク協議体では、『地域の支え合い・健康づくり活動ガイド』を作成しました。

このガイドブックは、住み慣れた地域で、いつまでも暮らし続けられることを目的に、支える側、支えられる側の両方に役立つ情報誌となっています。それぞれの地域で行われている、皆様のすばらしい活動の情報も掲載させていただいておりますので、ぜひご覧下さい。

地域の中のつながりは私たちの暮らしを守り、大淀町の未来をつくります。

地域のつながりは、お宝です。お宝はあなたの地域にもたくさんあふれているはずですよ。

「ふだんのくらしのしあわせ」をみんなでつなぎ合わせていきましょう！

情報誌に興味を持たれた方は、大淀町社会福祉協議会までご連絡下さい。

ガイドブックはホームページでもご覧いただけます。



大淀町社会福祉協議会

検索



集いの広場のご紹介

ほっこりカフェ

車坂区民の集いのカフェをご紹介します。月に1回程度、お菓子や食事を食べながら団らん交流会を楽しまれているそうです。

地区独自のカフェで、運営されているのは車坂区女性会（車坂区女性防火・防災クラブ）の方々です。

自助、互助、共助を中心とした地区の防災力の向上を目的とし、カフェやその他の交流会、研修会等を開催して地区内のつながりを強化する活動がされているそうです。6人で活動を開始して4年目で会員26名と着実に地区に根付いているようです。



げんきかふえ

“ここに来ると明るく前向きに元気になれる”
“元気をもらいにカフェに行こう”と感じてもらえるようなカフェづくりを進めています。

社会福祉法人の職員が常駐しており福祉の相談も受け付けています。家族やご近所さんの“ちょっと気になったこと”や“どこに相談すればいいの？”といったことも気軽にお話しください。みなさんのご来場をお待ちしております。

開催日時：毎月第2土曜日・第4水曜日

13：00～15：00

開催場所：大淀町文化会館

ふれあいコーナー

主催：大淀町元気な地域
づくり推進協議会



～災害時対応訓練～

11月16日（土）下市中央公園体育館にて吉野郡内社協連絡協議会・吉野青年会議所主催で災害時対応訓練を実施しました。

災害時に迅速かつ的確にボランティアを調整できるように、また住民参加による意識向上と被災時の協働・連携の基盤作りを目的として、民生児童委員、ボランティア関係団体、吉野青年会議所、社会福祉協議会、行政関係の各団体から総勢113人の方に参加いただきました。

午前中は奈良県社会福祉協議会から災害ボランティア受援コーディネーターの川口氏に「災害への事前対策と事後対策」というテーマで令和元年度台風第19号を事例として、災害リスク、事前・事後対策について講演していただきました。

昼食にハイゼックス袋（非常用炊出し袋）を使用して炊いたご飯と非常食のクッキーの試食を行いました。その後、避難所で役立つ段ボールベッドの組み立て実演、捜索時に活躍するドローンの飛行実演を見学しました。

午後からは災害ボランティアセンター運営シミュレーションを行いました。スタッフ役が受付班、マッチング班、ニーズ班、資材班、送出し班と役割分担して、ボランティア役が各班を回りました。災害ボランティアセンターでの流れを体験し、役割について理解を深めました。

今回、吉野郡で初めての大規模合同訓練でしたが、一回だけで終わることなく定期的に開催出来ればと思っています。また、これを機会に各団体、自治会等でも災害時訓練や事前対策などの話し合いの場を増やしていただければ幸いです。



ほうかつ通信

◆◆健康で過ごすために

肺炎予防編◆◆

まだまだ寒い日が続きますね。お身体の状態はいかがでしょうか？今回は肺炎予防のお話をします。高齢になると風邪やインフルエンザからも、肺炎の発症につながります。肺炎を少し理解することで予防につながっていただければ幸いです。

●肺炎とは？

肺炎とは細菌やウイルスが肺に入って炎症を起こす病気を指します。鼻や口から入ったウイルスや細菌を普段は、のどでブロックすることが出来るのですが、風邪やインフルエンザ、誤嚥などにより防御機能が弱まってしまふことで肺に細菌が到達し、肺炎を発症してしまいます。

●肺炎の症状

○肺炎の症状としては、1週間以上続く咳、高熱、胸の痛みなどが挙げられます。
○高齢の方の場合は、はっきりと症状が現れない場合があります。「何となく元気がない」「微熱が続く」「食欲がない」「動くことが少なくなった」などがみられた場合は医療機関の受診をお勧めします。

●日本人で第5位の死亡原因

厚生労働省の統計から2018年の死亡原因をみると肺炎は、がん、心疾患、老衰、脳血管疾患に続いて第5位です。高齢の方はもとも別の病気を持っていることが多く、肺炎にかかる病気が重症化しやすくなるため、予防することが重要です。

●肺炎の予防

○外出から帰宅した時の手洗い・うがい。
○適度な加湿。
○インフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの接種。
○十分な栄養摂取と睡眠。
○食事の際は姿勢を整える。食後2時間は横にならない。食後と寝る前にもうがい・歯磨きをする。

●地域包括支援センターへ相談

今回は肺炎予防についてご紹介しました。このほか、介護保険サービスや暮らしの困りごとがありましたら、お気軽に地域包括支援センターまでご連絡ください。

(TEL 0747・52・7760)



広告掲載欄

あつがき

今回の表紙は聖徳太子建立の世尊寺です。聖徳太子が創建したお寺と伝わっていて、聖徳太子御遺跡第七番にその名を連ねています。

飛鳥時代（7世紀後半）には存在していたと推測されていて、昭和2年4月8日に国の史跡に指定されています。名前を吉野寺、比叡寺、現光寺、栗天奉寺（りってんほうじ）、世尊寺と変えながら現在にいたります。同じ場所であり続けながら、5度も名前を変えたお寺は他にはありません。吉野という地名の由来はここ世尊寺に端を発しているとも云われています。

さて、皆さんお正月はどのようにお過ごしでしたか。生活リズムが乱れてしまった方も多いのではないのでしょうか。体調管理をしっかりして寒い冬を乗り越えましょう。（とき）

